

江蘇 製造企業 ファイル

File.7 高橋金属制品(蘇州)有限公司

副總經理 熊谷 陽助 氏

主な業務

精密金属プレス部品の製造
環境関連機器の開発・製造・販売



「日本人は3人という最低限の体制ですからね。自分の責任は重いですし、やりがいもあります。特に昨年から本当に忙しくなって、毎日残業の日々ですね。ただ、お陰様で順調にきていると感じます」

「昨年から特殊生産設備や制御盤の受託生産も開始したという。『もともと設備製造のノウハウは持っていたので、応用を加えるだけでいい。また、弊社の製品はすべてオーダーメイドなのですが、洗浄機を含め、周辺システムごと受注できるという大きなメリットがありました』

「顧客の多くは日系企業だが、昨今で

洗剤を使わない、電解イオン水洗浄システムの製造と販売を手がける高橋金属制品(蘇州)有限公司。環境保全部が叫ばれる現代において、洗剤を使用しない同社のシステムはエコロジーはもちろん、コストダウンも実現できる夢のシステムとして業界内外から高い評価を得ている。その高橋金属が蘇州に進出したのは2004年のこと。なぜ、同社は蘇州を選んだのだろうか。

「会社から『これからは中国だから勉強してこい!』と、なぜか私に白羽の矢が立てられ、単身、広州南部の東莞に赴任することになりました。最初は販売商社への出向という形だったのですが、本格的に進出するという段階になって、今後はやはり上海だろうというところで、上海近郊で現地法人設立を検討しました。蘇州は上海からも近くコストも安い、それに環境も良かった。そこで蘇州に会社を設立することになったんです」

「そう話すのは、同社の中国進出プロジェクトの当初から参画してきた熊谷副總經理。東莞時代を合わせて、中国に来て丸8年。始めはわからなかったという中国語を流暢に操り、てきぱきと部下に指示を出す。

「残りの任期が何年なのか不明なんですが(笑)、今までは正直、業績重視でしか仕事に取り組んできませんでした。とにかく売り上げをあげることに必死でした。今になってようやく、後継者の育成に目を向けられるようになりました。現在、中間管理職までのローカライズ化は達成しましたが、それでも自分が抜かれる状態ではない。そのため、今後は現地のスタッフにどんどん任せていきたいと思っています。教育ですか?私が見て学べるようにがんばっています。私を見て学べば大丈夫だって(笑)」

「最後に、帰国後の予定について伺った。『帰国してもまた蘇州に戻ってきたいです。やはり蘇州には愛着があります。それに日本に帰国しても自分の居場所はないと思うんでね(笑)』

は中国・韓国系といった企業にも販売実績が多いという同社。近いうちに、広州地区に新たに分公司を構える予定だという。

「原点回帰ではありませんが、東莞への設立を考えています。将来的には工場もつくり、内陸部進出の拠点としての成長を期待しています」

「新事業の開始や営業所の設立など順風満帆の同社。現在抱える問題点は無いのだろうか。

「やはりワーカー不足には頭を悩ませています。それでも低い離職率を保っていられるのは、弊社のシステムの特徴にあると思います。前述の通り、デザインから組み立てまでオーダーメイドなので、ひとつとして同じものがない。自分の想像通りに作れる面白さはもちろん、完成する度にスキルアップを感じられるのも、やりがいに繋がっていると思います」

「中国生活も9年目を迎えた熊谷副總經理。残りの任期の間に成し遂げたいことはなんだろうか。

おじゃましまへす!

ロリポッポ伏木の工場



▲電解イオン水洗浄システムを作る高橋金属さんにおじゃましまへす。なぜか大量の洗濯物を持参のロリポッポ。「三カ月分持ってきました!」...三カ月分って。洗濯はまめにしましょう。

ロリポッポの工場体験記

工作油まみれの金属部品も洗浄機に入ると数分でピカピカ、乾燥まで終えた状態で出てくる。洗剤不使用と聞き、エコロジーぶりに驚きました。今回の作業服、最初に渡されたのがマタニティ用...。ちょっとショック。



▲設計室を抜け出し、洗浄機ならぬ洗浄システムを探し始めるロリポッポ。ここはフレーム作りの工程。変な女の出現に、作業スタッフも思わず手を止めて怪訝な顔。あの、ジャマですから。



▼遂に同社が誇る洗浄システムを発見! そろそろ洗浄機ではないと気づいていい頃だが...。「大きい。これなら一回で洗えますね!」とご機嫌の様子。あの洗濯物を勝手に詰めないように。



▲制御装置も作っている同社。「下着もあるので手洗いモードです。さすがは念入りに!」と恥ずかしいトランプ指示を出すロリポッポ。スタッフは無視...高橋金属さん、おじゃましました!